

選別的な不当処分を許すな！

日新 勤労千葉

80.6.2

NO. 444

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話 二三五八一九・(公衆電話)三二七二〇七

長期強靱な闘いに 総決起しよう！

5/31オハ回
支部代確認

国鉄当局は、5月31日、勤労千葉に対し、80春闘および勤労「本部」反動分子による4・15津田沼拠点マト破壊襲撃を容認し、職場秩序を乱した、なるデツキあげをもって、解雇一名を含む二八九名の大量不当処分を通告した。

本部は、同日13時オハ回支部代表者会議を開催し、このような理不尽きわまりない、勤労千葉への意図的破壊のためのみの弾圧に全員が激しい怒りをあきらめず、うって一丸となって不退転の闘いに断乎として立ち上ることを満場一致確認した。全ての組合員の皆さん、当局「本部」反動分子一体となったマル生よりもはるかに巧い、この選別的な不当処分は組織破壊・介入攻撃を断じて許さず、支部代で確認決定された「当面する反処分オハ回闘争の具体的戦術」のもと、あらゆる戦術を駆使し、長期強靱に闘いぬこう！ 6・2「不当処分粉碎・反動秋山局長追放、オハ回闘争突入総決起集会」に総力で結集しよう！

勤労千葉破壊のためのみの意図的弾圧

オハ回支部代表者会議は、今回の不当処分の本質について、オハ回、国鉄当局と「本部」反動分子の一体となった「4・15」を口実としたデツキ上げと何一つ整合性のない異常かつ邪悪な意図をき出しの悪質な処分であること。オハ回、三里塚を闘い、ジェット闘争を闘うか故の、政府・公団・当局・草マルの恐怖にかられた、勤労千葉への組織破壊を目的にした攻撃は三里塚処分であること。オハ回、資本主義体制が崩壊の危機にひんする中で80年代労働運動を強権的に圧殺するための処分である事を明確に確認した。

前代未聞の、こんな巧い処分をどうして許せようか！ 怒りも新たに反処分、反撃の即いに総決起しよう！

襲撃された側の勤労千葉に「解雇1名ほか多数に重処分」、しかし、襲撃した本部側には、村上ただ一人に停職1ヶ月……

選別的な不当処分の内容

本部 布施守一(日鉄法解雇)、吉岡正明(停職12ヶ月)、西森巖(停職3ヶ月)、水野正美(減給6ヶ月)、山口敏雄(減給6ヶ月)、高橋邦彦(減給6ヶ月)、岡豊(減給6ヶ月)、林熊吉(減給6ヶ月)、田中康宏(減給

6ヶ月)、
津田沼支部 片岡支部長(減給2ヶ月)、山下副支部長(減給1ヶ月)、重見書記長(減給1ヶ月)、他戒告7名。
千葉転支部 永田支部長(減給2ヶ月)、岡副支部長(減給1ヶ月)、梅沢書記長(減給1ヶ月)、他戒告9名。
蘇我支部 古川支部長(戒告)、
勝浦支部 窪田支部長(戒告)、
館山支部 佐久向支部長(戒告)。
訓告 各支部合計87名。 撤注 168名。 以上、総計二八九名。

オハ回の手先、反動秋山局長を 当面する反処分を 追放せよ！

- ① 各支部は、6月2日0時より4日24時まで全組合員による減産闘争(B行動)を実施する。但し、国電区間は各日とも0時12時はB行動、12時、24時はA行動とする。
- ② 各支部は、6月2日17時30分より千鉄局前で開催される抗議集会に最大限動員で結集すること。
- ③ 選別的な不当処分の本質と闘いの意義を全体化し、生産点からの強力な闘争体制をもって、全面的な非協力闘争に突入すること。
- ④ 労基法36条協定を破壊し、一切の時間外労働を拒否する。

本日17:30 全力で局前へ！

怒りを叩きつけよう！